

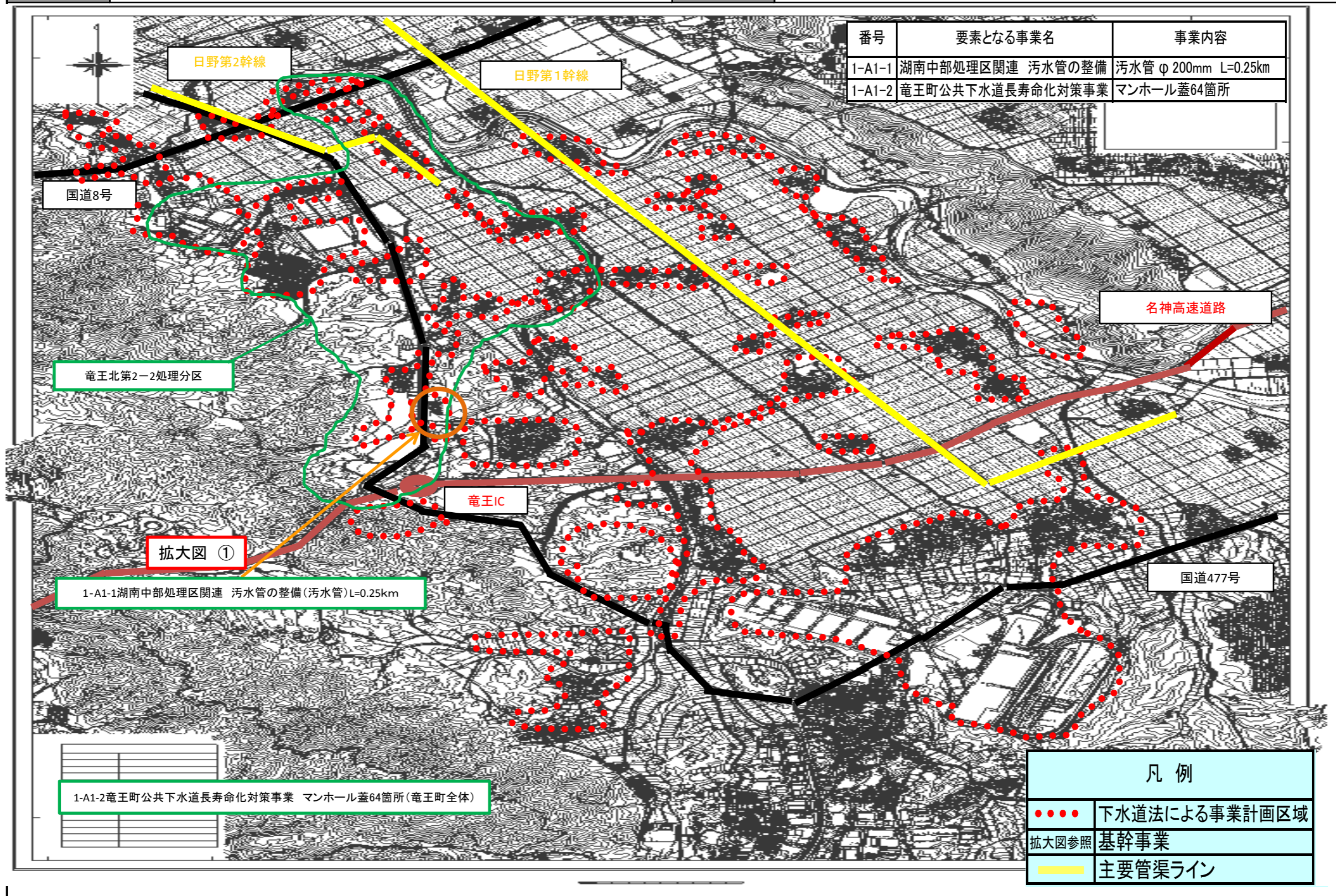
(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (水の安全・安心基盤整備)

平成27年 3月10日

計画の名称	竜王町における良好な水環境の形成																
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)					交付対象	竜王町										
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な生活環境を実現する。																
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道処理人口普及率を84.8%(H27)から85.5%(H31)に増加させる。</li> <li>長寿命化計画に基づく対策済みマンホール蓋率を0%(H27)から100%(H31)に増加させる。</li> </ul>																
定量的指標の定義及び算定式	下水道処理人口普及率 (%) 下水道を利用できる人口 (人) / 行政区域住基人口 (人)  長寿命化計画に基づく対策済みマンホール蓋率 (%) 整備済みマンホール蓋数 (箇所) / 対象マンホール蓋数 (箇所)										備考						
	当初現況値 (H27当初)			中間目標値 (H29末)			最終目標値 (H31末)										
	84.8%			85.4%			85.5%										
	0.0%			56.3%			100.0%										
全体事業費	合計 (A+B+C)	39百万円	A	39百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%						
<b>交付対象事業</b>																	
<b>A1 下水道事業</b>																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
1-A1-1	下水道	一般	竜王町	直接	-	汚水	新設	湖南中部処理区関連 汚水管の整備	汚水管 φ200 L=0.250km	竜王町						23	
1-A1-2	下水道	一般	竜王町	直接	-	汚水	改築	竜王町公共下水道長寿命化対策事業	マンホール蓋64箇所	竜王町						16	長寿命化
											小計 (下水道事業)					39	
											合計					39	
<b>B 関連社会資本整備事業</b>																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						
<b>C 効果促進事業</b>																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 竜王町における良好な水環境の形成	交付対象	竜王町 全域
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		





# 社会資本総合整備計画チェックシート

(水の安全・安心基盤整備 滋賀県下水道事業(汚水))

計画の名称: 竜王町における良好な水環境の形成 事業主体名: 竜王町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針(汚水処理施設整備構想、流総計画等)と適合している。	○
2)上位計画(事業認可等)と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地元情勢の変化を踏まえている。	○
2)社会経済情勢を捉え、適正な計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)費用対効果について十分に効果がある。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)供用開始区域の接続率の向上が見込まれる。	○
2)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
3)地元住民の同意や要望がある。	○
4)事業実施のための環境整備が図られている。	○